

# 平成26年度寿楽荘事業計画・収支予算(抜粋)

## 1 基本方針

今年度は4月より消費税が増税されることから、介護報酬は人件費分を除いた0.63%増額されることとなり、これらの単価で1年間運営展開し、次年度には介護報酬の改定年度を迎えるという不安定要素の多い年度であり柔軟な対応が求められる中、社会福祉法人の本来の役割である『地域社会に根差した利用者を尊重した福祉サービスの提供』を念頭に置き業務の遂行を図って行きます。

消費税増税による利用者の一部負担金の増額に対しては必要最低線に留めるよう努め、消費税10%も視野に入れ検討して行きます。

今年度4月よりキャリア段位制度を研修規程の施行とともにOJTの一環として導入、同じく4月より地元自治会の高齢者世帯等に対する配食サービスの開始、年度中には奥多摩町を中心とした災害時における応援協定の締結等新しい事業を推進して行きます。さらには従来どおり介護福祉士の資格取得支援策として給与面での優遇策を施行、介護福祉士資格保持者の拡充に向けた体制作りと若年層の雇用促進・育成と再雇用制度のさらなる充実を進めて行きます。

処遇面においては、各職種間の連携強化、各委員会活動の充実を推進するとともに個々のキャリアアップによるサービスの質の向上を目指します。

## 1 重点目標

### ①.組織力の強化

職員一人ひとりがそれぞれの立場において資質の向上・職種間の連携強化に努め、協調性を養い信頼関係を構築します。

### ②.創立時よりの理念(理想)、目標の周知と再認識

【愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設をめざしています。】これら理念と目標の周知・再認識に努めます。

### ③.若年層の雇用促進・育成と再雇用制度の充実

ハローワーク・教育機関と連携し町内・外の新卒者並びに若年層の雇用の促進を図り、介護・看護職員を長期的に継続して育成できる体制作りを進めます。また、再雇用制度については誰もが安心して働けるよう制度の強化に取り組みます。

## 2 計画

1.法人計画目標の達成(定員の95%・ショート100%)

2.老朽化設備、機器等の計画的な更新の実施

安全面に配慮した機器への更新

3.人員配置基準に捉われない人員配置

増配置によるサービスの向上

4.自立と尊厳ある生活支援

傾聴による生活支援

5.キャリア段位制度の活用、外部研修への参加の促進

双葉会研修規程に基づいた職員の育成

各計画の推進、経営の安定化(消費税8%への対応)、利用者の安心感、安全性を第一に考えて各種事業に当たっていく。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)		
勘定科目		琴清苑会計
事業活動収入計①		792,616,000
事業活動支出計②		760,456,000
事業活動資金収支差額③(①-②)		32,160,000
施設整備等収入計④		0
施設整備等支出計⑤		38,620,000
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)		-38,620,000
その他の活動による収入計⑦		12,960,000
その他の活動による支出計⑧		6,500,000
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)		6,460,000
予備費支出⑩		0
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨)		0
前期末支払資金残高⑫		445,515,870
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		445,515,870